

応用マテリアル工学 (MA3e20L1)				
担当教員：学科長				
対象：第3学年	単位数：2.0	バイオ	環境・基盤	ナノ・機能
		限定	限定	限定
実施時期：A1A2 セメスター 水曜日 4 時限		場所：4 1 号講義室		
講義目的 近年のマテリアル技術は日進月歩の発展を遂げつつある。この講義では、マテリアルの工業技術的側面を基礎的に理解させることを目的に、企業や国の他の機関等から、多分野における第一級の方々を講師としてお迎えしている。				
講義項目：(2024 年度の例) ・ 住友電気工業(株)：光通信デバイスの開発 ・ 日本ガイシ(株)：カーボンニュートラルとセラミックス ・ 花王(株)：日用品メーカーの研究や業界が SDGs に向けて取り組んでいること ・ ローム(株)：SiC パワーデバイスの開発 ・ (株)コーセー：化粧品の機能向上に貢献する高分子材料 ・ (株)UACJ：持続可能な社会発展に貢献するアルミニウム材料 ・ 物質・材料研究機構：金属三次元積層造形プロセス ・ 東ソー(株)：ナノ構造制御に基づくセラミックスの研究開発ー歯科用ジルコニアの開発事例を通してー ・ 住友電気工業(株)：窒化ガリウムデバイスの開発と次世代超高速無線通信 ・ 三菱製鋼(株)：モノづくりを支え活躍する特殊鋼 ・ AGC(株)：産学連携で拓げるフッ素材料の可能性 ・ 日本製鉄(株)：日本製鉄の成長戦略とカーボンニュートラルへの取り組み		理解すべき事項 マテリアルの工業技術的側面及び研究開発の動向		
関連する講義 事前履修：マテリアル工学科講義全般 並行履修：マテリアル工学科講義全般 事後履修：マテリアル工学科講義全般				
参考書 (テキスト)：特になし 参考書 (演習書)：特になし				
講義ノートのリンク先：適宜資料配付				
成績評価：出席、レポート				
備考				